

市民センター (公民館・図書館)



市民と行政と専門家が
一緒に考え、
実現を目指す。

増改築がいよいよ動き始めました。

市民提案書のポイント

小さなまちのよさを生かした「まちづくり」を
“新しい市民センター”から!

- すべての市民に開かれた憩いの場
コミュニティ・スペースの新設
- 部屋数増、青少年の居場所づくり
人がつながる公民館
- ゆったり明るく利用しやすい
暮らしを豊かにする図書館
- 太陽光や地下水を有効利用
自然にも人にも優しい施設

築40年の市民センターは老朽化が進み、使いにくさやスペースの狭さが問題となっています。

2013年に改修案が提示されましたが、市民の声が活かされているとは言えず、「増床を視野に入れた改築」を求める市民の声が高まり、市は改修計画を凍結。市民と行政が対等に計画をつくる「新しい市民協働」の取り組みとして、「市民センターを考える市民の会」がスタート。

2016年4月に「市民提案書」を提出しました。

「市民提案書」をもとに、市の調査依頼がスタートしました。
補正予算1134万円を組み、日建設計コンストラクション・
マネジメント株式会社に4案の調査を依頼中。

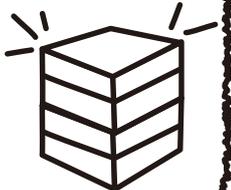
市民の会のホームページで、市のコンサルタント会社への調査発注の仕様書がご覧になれます。

皆さまの声を
お聞かせください!



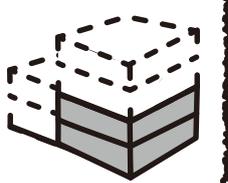
1. 新築案

現状を解体し
新築



2. 増築案 -1

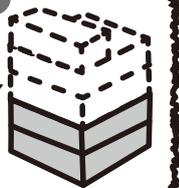
現状を改修+
縦横増築



2. 増築案 -2

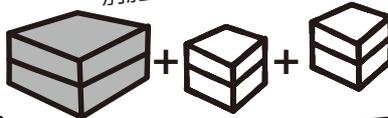
現状を改修+
縦横の増築を行う

増築部分に
木材を採用する。



3. 分散案

現状を改修(増床なし)+
別施設との供用+分室



増築工事中も施設が使えるメリットあり、
市民の会・世話人会で有力案として検討中。

この案では、市民提案書を実現
できないと考えられます。

★市民の会ではこれからも、市民意見交換会や勉強会、
木造建築の見学会などを計画中です。

市民センター
を考える
市民の会
(第2ステージ)



詳細は市民の会のHPをご覧ください。
<http://www.komae-tokyo.org/shimin/>
✉ shimin@komae-tokyo.org
FAX(3430)1402